



QRコード⑬ 【道しるべ⑬⇒宇佐神宮東口 1500歩】

国道10号線を西に400歩いて左の小道へ。
小道を1100歩けば宇佐神宮東口に。

宇佐神宮東口まで約0.85km

宇佐神宮の楽しみ方は最後のページで 「和氣清麻呂公がお札になっちゃった」。 イ/シシにまつわる話もおもしろい~!

もうすぐ宇佐神宮に到着する。宇佐神宮の森は広大だ。サンキューロードは東口に着く。境内は広いので、神宮の境内案内(3ページ目)を参考に拝観をお勧めする。東口の反対側には大尾山があり、和氣清麻呂公が祀られている。和氣清麻呂についてもう少しお話をしよう。

お札になった和氣清麻呂



【明治32年(1899)に発行された旧拾圓札(日本銀行券・兌換券)には「和氣清麻呂」・「護王神社」・「猪」が印刷されている。



この紙幣は「いのしし」とよばれた。

さて、和氣清麻呂が宇佐八幡宮のお告げとして、天皇位継承の在り方を、天皇家以外の人物は不可能と定義したことは、その後の歴史では、天皇制擁護の重要な人物として祭り上げられることになる。

特に明治時代から戦前までは天皇主権の国であった。なんと、和氣清麻呂は10円札の肖像になっていた。



宇佐神宮大尾山の『大尾(おお)神社』と『護皇(ごおう)神社』

宇佐神宮東口の反対側に大尾山があり、そこに和氣清麻呂が祀られている。急な石段下の両脇には巨大な石燈籠があり、その前に狛犬一対が座る。石段を登り切ると、正面に“和氣公之碑”と刻した石碑があり、道は左右に分かれる。山道を左手へ回り込むと大尾山の『大尾神社』に、右手へ進むと和氣清麻呂公をお祀りしている『護皇神社』に至る。大尾山の大尾神社付近は、勅使として宇佐八幡宮に赴いた和氣清麻呂が、八幡大神から、ご神託を受けた旧跡とされている。

京都の『護王(ごおう)神社』は足腰の神様に。



和氣の清麻呂公を祀る京都御所西の「護王神社」は足腰の守護神として広く崇敬され、境内の狛猪に因み「いのしし神社」とも呼ばれ親しまれている。

和氣清麻呂公とイノシシにまつわる故事から、足腰の健康安全・病氣怪我の快復に格別のご利益があると言われていて、有名スポーツ選手も参拝するほど、足腰の神様として人気がある。

京都護王神社の「和氣清麻呂と猪のお話し」

奈良時代・称徳天皇の御代のこと。弓削道鏡(ゆげのどうきょう)という僧が法王となって絶大な権力を振るっていました。やがて道鏡は、天皇の位も奪おうと考え、「『道鏡を天皇にすれば天下は平和に治まる』と宇佐八幡よりご神託(神様のお告げ)があった」と天皇にウソを言います。

天皇は、ご神託が本当なのか迷いました。そこで、和氣清麻呂公を呼び、九州の宇佐八幡へ行って確かめてくるよう命じました。清麻呂公は宇佐八幡へおもむき、ご神前に出て「真意をお教えてください」と叫びました。すると、光り輝く宇佐の大神が現れ、「天皇の後継者には必ず皇族のものを立てなさい。道鏡のような無道の者は早く追放してしまいなさい」とご神託を下されました。清麻呂公は都へ戻り、大神のご神託を天皇に報告しました。野望をくじかれた道鏡は激しく怒り、清麻呂公の足の腱を切った上、大隅国(鹿児島県)への流罪(るざい)としてしまいます。さらには、大隅国へ向かう清麻呂公を襲わせるために刺客を放ちました。



足の腱を切られ、立つことすらできなくなった清麻呂公ですが、皇室を守った大神に感謝するため、宇佐八幡へ立ち寄ることにしました。そして、一行が豊前国(福岡県東部)に至ると、どこからか三百頭ものいのしが現れました。いのししたちは清麻呂公の輿(こし=乗り物)の周りを囲み、道鏡の刺客たちから守りながら、十里(約40km)の道のりを案内してくれたのです。清麻呂公が宇佐八幡での参拝を終えると、いのししたちはどこかへ去っていきました。不思議なことに、清麻呂公の足の痛みは治り、再び歩けるようになっていました。一年後、称徳天皇の崩御(ほうぎょ=亡くなること)によって、道鏡は関東へ左遷(させん)されます。都へ呼び戻された清麻呂公は、時の天皇の信頼を得て活躍し、晩年まで世のため人のために尽くしました。

清麻呂公の立派な人柄と、彼を守ったいのししのお話は、後世まで語り継がれることとなりました。清麻呂公を祀る護王神社には、狛犬の代わりに猪イノシシが建てられ、今も清麻呂公を護り続けています。

清麻呂公のその後の功績

大隅国に流されてから一年が経ち、称徳天皇の崩御により道鏡は失脚し、清麻呂公は都へ呼び戻された。その後晩年まで世のため人のために功績を残した。特に桓武天皇の政権下で清麻呂公は高官へと上りつめ、平安京を都に選ぶように進言し、造営大夫として平安建都に力を尽くしたのである。

クイズ13 和氣清麻呂が印刷された戦前旧10円札は今の価値で何円ぐらいか。

次の中から選んでください(ア約100円 イ約1000円 ウ約3000円 エ約6000円 オ約1万円)

クイズ12の解答(先のとがった方)

宇佐神宮の楽しみ方。⇒次ページを参考に

宇佐神宮の楽しみ方。



宇佐神宮の境内は広大です。ゆっくり、森林セラピーを楽しみながらのお参りを

- まずは上宮にお参りを。 ●あとは自由に散策を。(外宮・呉橋・能楽堂近辺散策など)
- 宇佐神宮のパワースポット紹介。(三ヶ所)

・本殿奥の大楠(樹齢800年のご神木)

ご神木を触りながら1周するとご利益があるとか。

・願掛け地蔵(一生に一度しかお願いできないお地蔵様)

西参道を呉橋に向かい、呉橋手前を左に上ります。奥の方に大小二体のお地蔵様がありますよ。誰にも見られずに、一回きりの願い事をするとか。

・夫婦石(上宮に行く途中の階段の中にあるのです。)

この石を両足で踏むと、子宝に恵まれるとか・恋人とうまくいくとか・夫婦円満とか。

- 仲見世通りで飲食とお土産などの買い物も。

- 「蒸気機関車」の先の「山頭火歌碑」や、呉橋駐車場横「夏目漱石歌碑」も。

